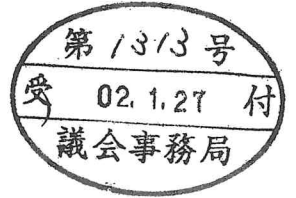


令和元年11月28日に提出した戸田市議会研修・視察報告書について、  
 費用合計に変更があったため修正し再提出いたします。

第1号様式・その1(第4条関係)

戸田市議会研修・視察報告書(会派名: 令和会)



令和2年1月27日

遠藤 英樹 議長 様

報告者氏名 峯岸 義雄

実施日	令和元年10月30日(水) ~ 令和元年10月31日(木) 1泊2日	
参加者	1 伊東秀浩 6 2 山崎雅俊 7 3 斎藤直子 8 4 峯岸義雄 9 5 林冬彦 10	合計 5人
視察先・目的	視察先 目的 1 第4回全国市議会研究フォーラムin高知 2 高知ちばさんセンター 3 「議会活性化のための船中ハ策」 4 5 6	
宿泊場所	1 高知パレスホテル 2 3	
費用	宿泊費(1泊食) 40,000円	夕食代 25,000円
	交通費 197,700円	昼食代 9,280円
	その他 参加費(35000)振込手数料(440-) 35,440円	合計 307,420円

令和元年 10月 31日 (木)

## 第 14 回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知 視察報告

### 大会テーマ「議会活性化のための船中八策」

#### 1. 視察概要

テーマ : 議会活性化のための船中八策

視察日 : 第 1 日目 令和元年 10月 30日 (水曜日) 13時から 17時

第 2 日目 令和元年 10月 31日 (水曜日) 9時から 11時

場 所 : 高知ちばさんセンター (高知市布師田 3992-2)

配付資料 : 資料集・参加者名簿

説明者 : 基調講演講師 中島岳志 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

パネルディスカッション

コーディネーター 坪井ゆづる (朝日新聞論説委員)

パネリスト

- ・高部正男 (市町村職員中央研修所学長)
- ・横田響子 (株式会社コラボラボ代表取締役・お茶の水女子大学客員教授)
- ・古川康造 (高松丸亀町商店街振興組合理事長)
- ・田鍋剛 (高知市議会議長)

課題討議

コーディネーター 坪井ゆづる (朝日新聞論説委員)

事例報告者

- ・滝沢一成 (上越市議会議員 議会改革推進課会議座長)
- ・久坂くにえ (鎌倉市議会議長)
- ・小林雄二 (周南市議会議長)

参加議員 : 戸田市議会令和会議員 (伊東秀浩・山崎雅俊・斎藤直子・峯岸義雄・林冬彦)

プログラム : 第 1 日目 (10月 30日)

第 1 部 基調講演「現代政治のマトリクス リベラル保守という可能性」

第 2 部 パネルディスカッション「議会活性化のための船中八策」

第 2 日目 (10月 31日)

課題討議「議会活性化のための船中八策」

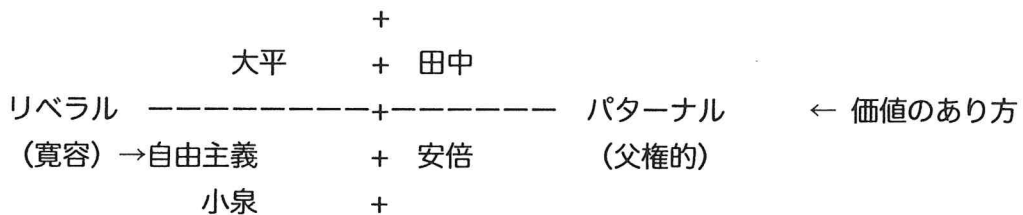
## 2. プログラムの内容 (詳細については添付「資料集」参照)

- (1) 1日目 基調講演「現代政治のマトリクス リベラル保守という可能性」  
中島岳志 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

### 1) 政治のマトリクス

政治の仕事 お金の問題と価値の問題 を扱う

リスクの社会化 (セーフティーネットなど)



リスクの個人化 (自己責任など)

国際比較 日本は小さな政府

問題 公務員の非正規化 → 災害に弱い

自民党 1960 から 1970 保守の危機 革新都政誕生

田中角栄 大平正芳 都市の福祉を重視

保守本流

希望の党の瓦解 立憲民主党の躍進

斜めと組むとわけがわからなくなる 政治的にはリスク

### 2) ラディカルデモクラシーとポピュリズム

世界的に 投票率の低下 民主主義の危機が来ている

ラディカルデモクラシー 枝野たてと言う声 直接政治に声が届くと感じる

→ 立憲民主党の失墜 ラディカルデモクラシーは熱しやすく冷めやすい

山本太郎 ラディカルデモクラシー を利用

ラディカルデモクラシー → 熟議デモクラシー・闘技デモクラシー

熟議デモクラシー 枝野のやり方

闘技デモクラシー 山本太郎のやり方 対抗軸を明確に出す

### 3) 保守とは何か

- ・なぜ 保守 という言葉が リベラル につながるのか
- ・フランス革命はおかしい エドモンドバーク 保守思想の原点
- ・人間の理性の無謬性に基づく革命 ← 人間は間違えやすい
- ・保守は反動ではない グラジュアルな改革 前進的な改革
- ・保守はリベラルに近づく
- ・自分とは異なる意見に耳を傾け、その中に理があると考える  
→ 合意形成が生まれる

## (2) 1日目 パネルディカッション「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター

坪井ゆづる 朝日新聞論説委員

パネリスト

高部正男 市町村職員中央研修所学長

横田響子 株式会社コラボ代表取締役

古川康造 高松丸亀町商店街振興組合理事長

田鍋 剛 高知市議会議長

### 1) 議会に対して思っていること

#### ◆高部

昨今、課題として採り上げられるもの

- ① 低投票率
- ② 無投票などに代表されるなり手不足
- ③ 議員層の偏り

住民目線での批判

- ① 何をやっているのか
- ② 長の追認ばかりやっているのではないか
- ③ 低レベルの議論ばかりではないか

議会改革の動き、議会基本条例が全国に広がっている (6割) 好ましい傾向にある

#### ◆横田

- ・20年後の住民は幸せか
- ・やりっぱなしになっていないか (数字 EBPM と PDCA)

- ・若手や女性の参加は？巻き込んで街を活性化する策は？

#### ◆古川

- ・市の中心部が衰退 → 商店街の衰退
- ・公費で中心市街地活性化を図る意味はあるのか
- ・市の中心部には人が住まない、郊外へ 議員には票にならない
- ・議員は国策や全体的なことに関心を持つべき
- ・ローカリズム

#### ◆田鍋

- ・高知市議会 ほとんどが専業
- ・女性の立候補者は多くない
- ・投票率も高くない 36%程度
  
- ・議会基本条例は意義深いと考えている
- ・二元代表制はとても重要である
  
- ・しかし現状は、議案は、ほぼ首長から  
→ 首長優位

結論 議決機能を持つのが議会 地方自治法96条1項2項を使いこなす  
この機能を活用することで首長と並ぶ力も持てる  
議会は首長の追認・承認機関だと言われたいように

## 2) 各パネリストからの提案

#### ◆高部

- ・投票率の低下 → 選挙期日の統一
- ・選挙区制度の見直し 大人数が選ばれる選挙だと関心低い
- ・なり手不足 → 労働法制の見直し  
兼業規制の見直し（公務員が立候補できない）  
→ 国会で変える必要がある
- ・政策実現能力が重要視されすぎている 行政監視機能が重要
- ・外部監視機能の重視
- ・議選の監査委員の重要性
- ・決算認定の審査を工夫する、提案をする

◆横田

- ・ 中長期視点で街の目指す方向を議論
- ・ ガチンコ会議を多様な人材で 会議の構成配分
- ・ 経験の機会提供
- ・ テレビ会議を活用してはどうか

◆古川

- ・ 議会改革、改革は必要なのか？
- ・ 地域からリスペクトされる存在になっているか
- ・ 議員は地域代表になっている
- ・ 議員が何をやっているか伝わりにくいのが問題 リスペクトが生まれにくい

◆田鍋

- ・ 高知市議会では広報誌を出している
- ・ 議会広報コンクール

3) 女性議員を増やす方法は

◆横田

- ・ 女性の口説き方を工夫する（慎重な傾向）
- ・ 資料集 31 頁朝日新聞記事を参照

◆高部

- ・ 一定数を超えると急激に増えると思う
- ・ 複数投票制を導入する 衆議院選挙第一回で採用されて女性躍進した事例

◆田鍋

- ・ 後継者に女性を指名する事例はある
- ・ 議会のもつ「監視機能」をきちんと果たしていくことが重要
- ・ 女性議員の存在
- ・ 議会の一般質問等におけるガチンコ勝負が重要
- ・ 議会が何やっているかわからなくてももうまく回っている意識  
→ 議会に関心を寄せない → 関心のある話を皆に伝える

(3) 2 日目 課題討議「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター  
坪井ゆづる

#### 事例報告者

滝沢一成 上越市議会議員 議会改革推進会議座長

久坂くにえ 鎌倉市議会議員

小林雄二 周南市議会議員

報告に先立ち、各事例報告者から地域紹介・自己紹介があった

#### 【議会改革】についての報告

##### ◆滝沢

上越市議会では、過去女性市議は0人で、平均年齢60歳以上だった。

→ 議員のなり手がいない！

→ そこで、市議になる壁をなくそうと努力 → 挫折

→ 市民の声は「市議を目指さない 議会に魅力を感じていない」だった

→ 市民は「議員になれないのではなく、なりたくないんだ」という意識

→ そこで、議会に対する関心を高めよう → ホワイボードミーティング開催

ステップ1 市民と議会の距離を縮める

ステップ2 待遇改善 議員報酬 社会保障 議員報酬とあり方研究会

ステップ3 議会改革 議会改革検討委員会 議会モニター制度

結論：議会改革推進こそ議員のなり手を増やす最前の方法である

##### ◆久坂

・鎌倉市議会では、出産に関する欠席規定がなかった

・産前産後休暇に関する定めがないため、どうやって休みをとるかに苦悩した

・会議時間の終了規定もなかった

・28名中、10人が女性議員

→ 会議規則の見直しへ

→ 出産に関する休暇取得に向けての規則規定へ

→ 配偶者出産規定へ

結論：議員の位置づけの明確を

法律で守られていない地方議員の位置づけの明確を

地方議会における会議規則を見直し、議会の価値を高めるように

◆小林

- ・周南市の議会基本条例についての報告
- ・合併をきっかけに主に報酬問題から議会解散
  - 出直し選挙を行い、議会改革へ
  - 議会基本条例を制定

結論：形より実のある議会改革へ

【行政監視機能】についての報告

◆滝沢

- ・委員会資料は詳細記述 徹底して10年
- ・新人議員でもどこに問題があるかわかるように
- ・インターネットでも公開しているので見てほしい

◆久坂

- ・ゴミ処理行政 有料化を減額修正
- ・自転車条例
- ・議会内で情報共有 超党派で行った

◆小林

- ・閉会中でも所管事務調査を積極的に行なっている
- ・行政監視の中で指定管理者制度に関して問題提起を行った

【議会報告・意見聴集】についての報告

◆滝沢

- ・テーマを決めて意見交換会
- ・無作為抽出 500人に議会アンケート
- ・議会モニターは30人
- ・子供の議会見学を積極的に行っている

◆久坂

- ・常任委員会ごとに議会報告と意見聴衆
- ・高校生から意見を聴いてみたいと高校生議会を検討中
- ・ゴミ処理減額条例については、スーパーなどで意見聴衆

◆小林



- ・委員会懇談会（ミニコン）の開催

#### 【情報公開】についての報告

##### ◆滝沢

- ・議員の賛否公開
- ・ありとあらゆる情報公開
- ・ケーブルテレビ公開
- ・YouTube 公開
- ・Facebook 発信

##### ◆小林

- ・インターネット中継（本会議）
- ・委員会は2時間にまとめて公開

#### 【議会をめぐる諸条件】についての報告

##### ◆滝沢

- ・議員の厚生年金はあってもいい
- ・市長の退職金無くせ

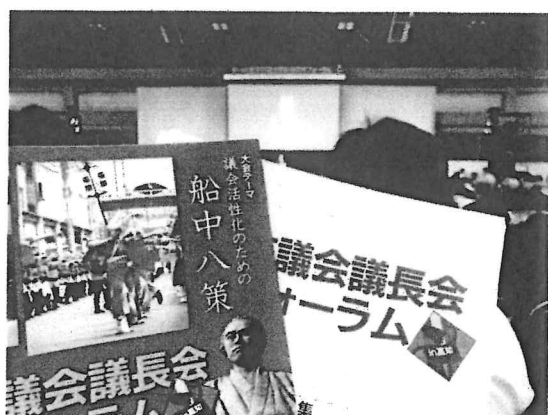
##### ◆久坂

- ・なり手のことを考えると、年金、退職金は検討すべき

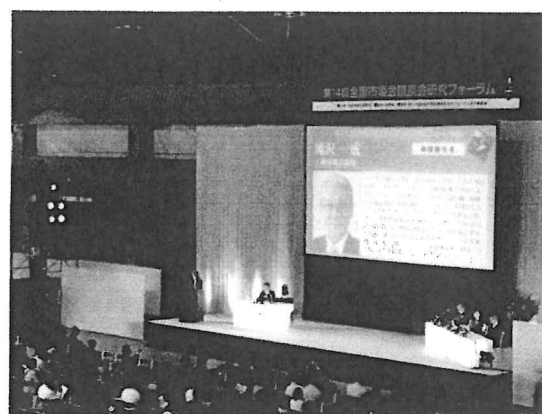
#### 【まとめ】議会活性化のための船中八策

- ① 行政監視機能を高めよう
- ② 次世代を見据えた議論をしよう
- ③ データを踏まえた議論をしよう
- ④ 多様性の確保を図ろう
- ⑤ 議会の側から仕掛け（地方自治法 96 条 1 項 2 項）を重視しよう
- ⑥ 労働法制の見直しを図ろう
- ⑦ 市政や議会の情報公開を徹底してやろう

（報告者 令和会 林冬彦）



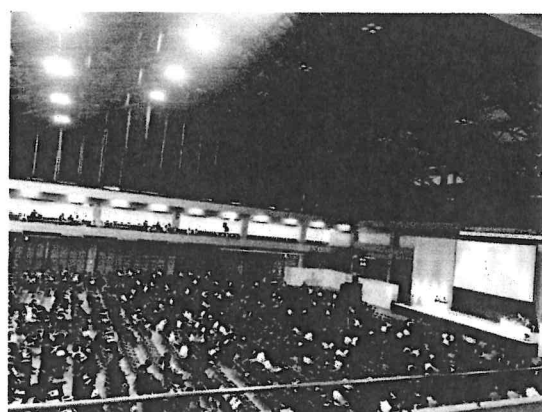
会場にて



事例報告者紹介（2日目）



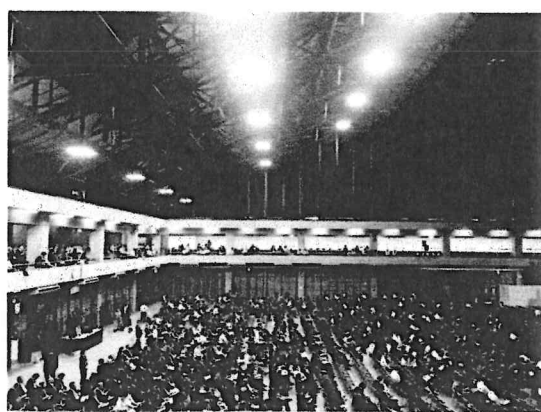
高知ちばさんセンター入口前にて  
令和会議員一同



2日目の会場の様子



コーディネーター紹介（一日目）



2日目の会場の様子